

11月14日(土)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111
http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/1541000002.html

いちかわ

市議会だより

9月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日(定例会号)、1月1日(新年号)に発行します。
今回は12月定例会が開催予定です。



9月定例会

市営駐輪場条例を一部改正

平成26年度決算を認定



平成27年10月にオープンした市営ターミナルシティ本八幡地下駐輪場

市議会は、平成27年9月定例会を9月4日から10月2日まで開催しました。

9月定例会では、市長から、市川市民活動総合支援基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定、市川市民活動団体事業補助金交付条例の制定、市川市自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例の一部改正についてのほか、平成26年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算の認定についての議案27件が提出され、議員からは、地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書案などの発議10件が提出されました。その他、32人の議員による一般質問を行いました。

本会議での採決の結果、市長提出議案の27件をいずれも原案通り可決し、諮問1件を異議ない旨答申しました。議員提出議案については、意見書案3件を可決7件を否決しました。また、請願1件を採択し、5件を不採択としました。この他、市長から、専決処分の報告5件など計8件の報告がなされました。

(一般質問は25面、審議結果一覧は6面に掲載。)

決算審査特別委員会

委員長	浅野 さち	副委員長	増田 好秀
委員	西牟田 勲	委員	青山ひろか
委員	進成子	委員	藤永鉄
委員	坂浦一	委員	石原みさ
委員	高三	委員	大場詩
委員	荒木	委員	大場詩

◆主な議案

○市川市自転車等駐輪場の設置及び管理に関する条例の一部改正について
受業者負担の適正化を図るため、自転車等駐輪場の使用に係る使用料の額を見直すと共に、自転車等駐輪場を使用することができる自転車等に総排気量125ccまでの自動二輪車を加えるほか、所要の改正を行うものです。

【主な質疑】

「条例改正によって現行の無料駐輪場が有料化されるが、放置自転車対策に悪影響はないか。」との質疑に対し、「無料駐輪場の設置は放置自転車対策において一定の効果は上げたが、有料化による影響については現状では予測が難しい。状況を見ながら適切な対応に努めていきたい。」との答弁がなされました。また、「国分高校バス停の駐輪場は、有料化に伴う管理業務の実施によって大幅な赤字となるが、コストと収入の関係をどのように考えているか。」との質疑に対し、「今回の改正に当たっては、利用者負担の公平性及び利用率の平準化を考慮した。個々の駐輪場では赤字となる場所もあるが、全体で収支の均衡が図られるよう算定している。」との答弁がなされました。

○市川市民活動総合支援基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
市民の行う地域に貢献するための活動に対して総合的な支援を図るため、市民活動総合支援基金を設けるものです。

○市川市民活動団体事業補助金交付条例の制定について
現行の市民活動団体支援制度(1%支援制度)を見直し、市民活動団体事業補助金を交付する制度を設けることにより、引き続き市民活動団体の活動の支援及び促進を行うと共に、当該活動への市民参加の促進を図るため、当該補助金の交付に必要事項を定めるものです。

○平成27年度市川市一般会計補正予算(第一号)
一般会計補正予算案は、歳出において、北東部スポーツ施設整備事業(土地購入費等)など、歳入において、ふるさと納税控除金など、それぞれ約2億2973万円を追加し、歳入歳出の総額を約136億2973万円とするなどの措置を行うものです。

◆認定

○平成26年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算の認定について
平成26年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算について、監査委員の意見を付けて議会の認定を求めました。

議会の設置した決算審査特別委員会では、まず、本決算に対する監査委員の審査について、監査委員の出席を求めて質疑を行いました。また、決算書の審査に当たり、歳入では、収入未済額、未納欠損額の主なもの、歳出では、不用額、流用・充用の主なものについて説明を求め、議決と執行の執行であったか、また、どのような行政効果があったか等を中心に質疑を行いました。(6面に掲載)

◆報告

9月定例会では、健全化判断比率、資金充足比率、継続費の継続年度終了による積算についての他、専決処分の報告5件の、計8件の報告がなされました。